

同志社大学空手道部 80 周年！ 節目の行事が世代をつなぎ、最高の飛躍へ



土山洋樹監督(上写真)が、コーチ・現役部員を紹介。代表して藤井晟矢主将が参加者に感謝の意を述べると、この日一番の大きく温かい拍手が送られた(左写真)。



八田英一・同志社大学総長・理事長



松岡敬・同志社大学学長



沖田行司・同志社大学体育会会長



豊原洋治・同志社スポーツユニオン会長



古川一彦・全日本学生空手道連盟理事長



濱直樹・同志社大学スポーツユニオン最高顧問



稲田秀一・同志社大学応援団名誉会長



名倉徳和・空洛会会長



上田誠一郎・空手道部部长



空手道部関係者による記念写真。現役学生とコーチ、歴代の卒業生、また海外で空手指導をする(富山恵嗣)OBの道場生が12カ国から参加。

同志社大学体育会空手道部が創部 80 周年の祝賀会を開催。空手道関係者、大学関係者、また現役部員や卒業生など、およそ 250 名が参加した。

同部は 1937 年の創部。1960 ～ 61 年に男子組手全日本連覇など歴史と伝統を誇る。近年は、卒業生・現役生で女子団体形の世界王者を輩出、全日本大学選手権で毎年のように男女の形・組手いずれも上位につける。

本年は、卒業生の大野ひかる選手がプレミアリーグパリ大会優勝、西山走選手が全日本学生選手権と国体を制覇、清水那月選手が国際大会でメダル獲得など、将来性豊かな選手が育っている。

祝賀会には多くの OB・OG が駆けつけ、後輩部員達にエールを送る姿が至る所で見られた。長年部の行事に出られなかった卒業生が駆けつけて久々に同志との

歓談を楽しみ、また、同部を卒業後に海外指導に赴いた OB が 12 ヶ国から道場生を連れて参加していた。

同部は昨年、創部 80 周年祝賀会にむけたホームcomingデーイベントを実施。OB が家族をつれて気軽に道場に足を運ぶ機会を設けた。各世代の卒業生がこの 80 周年という機会を通じて、より強く結びついている。



同志社大学空手道部は今年、現役部員の西山走(左下写真)が全日本学生で優勝。清水那月(右下写真)は、JKF ナショナルメンバーとして国際大会でメダルを獲得。卒業生でも、2016 年の WKF 世界選手権で大野ひかる、山下紗葵が団体形世界一に(上写真)。